

中部ライフガードTEC2023の出展報告

中部ライフガードTEC2023に出展、南海トラフ地震対策をPR！

【開催概要】

- 令和5年12月6・7日にポートメッセなごやにて、名古屋国際見本市委員会主催（共催：南海トラフ地震対策中部圏戦略会議）の**中部ライフガードTEC2023に出展**
- 展示ブースでは、道路啓開計画・排水計画・航路啓開計画や**南海トラフ地震対策に関する戦略会議の取り組みについて**、パネル展示及びパンフレット配布による**周知・啓発**を実施
- 南海トラフ地震対策に関する4種類計700部用意したパンフレットは全て配布完了



中部圏 1 3 5 の産学官民、 連携・協働。



南海トラフ地震対策中部圏戦略会議とは？

東日本大震災の教訓を踏まえ、地震の被害や経済への影響を最小にするため、中部圏の**国、地方公共団体、学識経験者、地元経済界等**が「中部圏戦略会議」を設立しました（写真はH30.5.17開催の第9回戦略会議の様子）。

戦略会議では、南海トラフ地震等の巨大地震に対して総合的かつ広域的視点から関係機関が一体となって重点的・戦略的に取り組むべき事項を**中部圏地震防災基本戦略**として協働で策定し、取り組みを進めています。

第1回戦略会議（H23.10.4）設立

- 座長（奥野信宏 名古屋都市センター長）
- 学識経験者（13名） ※座長含む
- 国の地方支分部局（36機関）
- 地方公共団体（13機関）
- 経済団体（4機関）
- ライフライン関係団体等（59機関）
- 報道関係機関（10機関）

合計**135**構成員（R5.5.15現在）
（事務局：中部地方整備局）

第3回戦略会議（H24.11.5）

中部圏地震防災基本戦略（とりまとめ）

- ※その後、H26.5.5に第一次改訂、H29.5.5に第二次改訂、R5.5.5第三次改訂
- ※H30.5.5に南海トラフ地震を想定したタイムラインを作成

第13回戦略会議（R4.5.19）

第14回戦略会議（R5.5.15）

第14回戦略会議では、各機関から令和4年度の取り組みを報告、令和5年度の活動計画を決定し、南海トラフ地震発生時における関係機関の行動と連携をまとめた**タイムライン**の更なる迅速化・効率化の実現のために関係機関で共有すべき情報の整理と共有体制の構築に向けた検討を開始すること、並びにイベントによる南海トラフ地震対策に関する周知・啓発を行っていくこと等を確認しました。

「中部版くしの歯作戦」

国土交通省 中部地方整備局

「地震・津波発災直後からの取り組み」

津波等により、甚大な被害を受けた地域での救援・救護活動を支援するための「道路啓開」を最優先に行う。

大規模地震発生からの流れ

発災	初動	復旧	復興
● 人命救助 ● 道路啓開	● 人命救助 ● 地域支援 ● 道路啓開	● 応急復旧 ● 本格復旧	● がれき処理 ● 復興事業

【道路啓開（どうろ-けいかい）】
災害時における救援・救護の要として、がれきで塞がれた道を切り開き、緊急車両の通行を確保すること

作戦の基本的な考え方

- ▶ 人命救助のための救援・救護ルートを最優先で確保
【被害の甚大なエリアを中心に】
- ▶ 防災拠点等を連絡する緊急物資輸送ルートを確保
【被害地域全域】

STEP1 くしの軸

広域支援ルート

STEP2 くしの歯

沿岸部に繋がるルート

STEP3

沿岸沿いルート

95



展示ブースの様子

令和5年度 大規模津波 防災総合訓練

11月11日 9:00~11:00

配布パンフレット

TEC-FORCE

Technical Emergency Control Force

ともに立ち向かう

南海トラフ地震 その日、来たら